

県下の交通事故 (3月19日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
61年	733件	21人	953人
62年	876件	17人	1,181人
比較	+19.5%	-19.0%	+23.9%



◇第75号◇  
発行所  
甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 37-7827



子がにぎるママのその手は命綱

# 春の全国交通安全運動

## 5月11日～20日

### 子供と高齢者を守ろう

### 飲酒運転の絶滅も重点

昭和六十二年春の交通安全運動は、五月十一日から二十日まで十日間全国一斉に実施されます。春の全国交通安全運動は、毎年四月の新学期に合わせて行われていますが、本年は、四月に統一地方選挙が行われることから一カ月程遅らせて実施することになりました。本県では、交通対策本部で決めた運動の重点、①子供と高齢者の交通事故防止、②正しい方法によるシートベルト、ヘルメットの着用の徹底、③若年運転者の無謀運転の追放に、飲酒運転の絶滅を加えて四つの目標をたてて運動を展開することになりました。本年は、前年に比べて交通事故が増加の傾向にあり、これに歯止めをかけて交通事故を二桁以下に抑えるため県民総ぐるみの運動を推進することになっています。

### シートベルト・ヘルメットの正しい着用の励行を

この運動は、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、その交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの

実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われます。

県交通安全対策本部が決めたおもな運動のすゝめ方は次のとおりです。

#### 子供と高齢者の交通事故防止

- 一、新入学(園)児と高齢者の事故防止を図るために、街頭における指導保護活動の強化
- 二、子供、とくに新入学(園)児に対する交通安全教育指導の徹底
- 三、通学(園)路を中心とした交通環境の確保



四、自転車の正しい乗り方の指導と点検整備の促進

五、子供と母親、高齢者に対する交通安全教育推進

六、幼児交通安全クラブ、交通安全少年団・高齢者交通安全クラブの育成と組織化の促進

七、家庭における交通安全の話し合いの励行

正しい方法によるシートベルト・ヘルメットの着用の徹底

シートベルト・ヘルメットの正しい着用の実践を習慣づけ事故の軽減を図るために

一、着用効果の広報と正しい着用法の啓発

二、着用の指導取締り強化

三、シートベルト着用「モデル事業所」及び「モデル地域」を中心とした職場や地域ぐるみによる正しい着用の徹底

四、街頭指導所の開設による指導の徹底

五、官公庁、学校、事業所等における指導の強化

六、各種講習会等を利用した正しい着用の徹底

若年運転者の無謀運転の追放

交通マナーとモラルの向上を図り、若年者及び二輪車事故を絶滅するために

一、若年運転者に対する交通安全教育指導の強化

二、「若年者交通安全クラブ」結成の促進

三、重大事故につながる違反の指導取締りの強化

四、暴走族を始めとする悪質な違反の取締り強化

五、不正改造車等整備不良車及び「無車検」「無保険」車両の取締り強化

六、自動車及び二輪車の点検整備の励行促進

七、家庭、職場及び地域における無謀運転をしない話し合いの推進

飲酒運転の絶滅

飲酒運転を絶滅するため

一、飲酒運転四ない運動の推進(運転するならば飲まない、運転する人には飲ませない、酒を飲んだら運転しない、飲酒運転は許さない)

二、酒類提供業者の協力による飲酒運転の抑止

三、家庭、職場、地域で飲酒運転をしない話し合いの推進

今年も庭の残雪の下に芽吹いている福寿草が可愛い黄色い花を開き、二月はじめの雪の日、もう紅梅に可憐な花が、一輪咲いていました。この冬は例年になく暖かく、寒の戻りはあっても日増しにあたたかな春の季節を迎えています。交通安全死亡事故の減少を期待した昨年にもまた厳しい一年で幕を閉じました。全国では五年続いて死者九千人を超えて九千三百七十七人を数え、何とジャンボ機十八機の墜落事故に相当する犠牲者となりました。県内でも五年連続百八台となり、二桁以下の抑止目標が達成できませんでした。

今年に入り、県内では二月末日現在、前年に比べて交通事故者が約半減し減少傾向への期待をもつことができていますが、全国的には依然として多発の傾向が続いており、原付利用者のヘルメット着用義務付けをはじめシートベルトの全面着用義務付けの実施などの諸対策が進むなかで、六十五年には交通事故死者八千人以下への望みも危ぶまれる情勢です。

念願し、年頭の交通安全祈願祭に始まり、年間を通して、交通安全指導を徹底的に行い、事故防止の為に、微力ではあるが努力して居る次第である。

なお、当局としても、交通安全の為に、乏しい財源の中からも巨費を投じ、ガードレールの設置、カーブミラー、或いは信号機等の交通安全施設の整備に取り組んでいる。以上の事を踏まえ、かつまた車を運転する皆さんは、その運転免許証の取得時は、誰れでも必ず交通法規なるものを学んだ苦である。運転技術ばかりではなく、事故防止の為に、もう一度、法規を思い出し、勉強し、原点にかえり、初心に戻って、マナーを守り、交通安全をお願いしたい。何よりも交通安全は、自分からを念頭に、……。

安全のために、ピーポービ、入院している病院に慌ただしく救急車が入って来た。また、事故かな、と思ひ病室の窓から眺めて見ると、案に違わず、交通事故に依る負傷者が運びこまれて来た。今回は担架に乗せられた学生らしい怪我人だった。今日はこれ、二件目、これは私が病気で、或る病院に入院中の出来事であり、僅か十日余りの間に交通事故に依る負傷者が運び込まれたのが、この病院だけで五件目だった。その多さにびっくりしたが、どうして、こんな交通事故が多めてくるのだろうと思ひに思ふ。

交通安全を守って車を運転して居れば、絶対にあり得ない事故なのに、今日の事故の発生原因を知り合

の消防署員に尋ねたところ、一件はオートバイの速度の出し過ぎによる自損事故、もう一件は幾分飲んで(酒)いたらしい軽トラの衝突事故との事、これを聞いて不思議に思ふより、当事者に対し隣問ええええ。このように事故に巻き込まれた第二当事者こそ迷惑

用が義務化された、この事については約九〇%は遵守されていると言われている。これに依り、ドライバーがそれぞれ緊張して運転してくれと、交通事故も大幅に減少するだろうと云う期待が淡く遠のいた感さである。いずれにしても、山梨県

有台教も五九万台を突破し、まだまだ増える事が予測される。このような交通情勢のなかで、事故皆無を願うことは無理であろうか、否、困難な事を承知で警察をはじめ、私達、交通安全協会、交通関係各団体は一体となり、悲惨な交通事故を一件でも減少させようと、常に

### 原点にかえって

南甲府交通安全協会会長 向井菊蔵



今年も庭の残雪の下に芽吹いている福寿草が可愛い黄色い花を開き、二月はじめの雪の日、もう紅梅に可憐な花が、一輪咲いていました。この冬は例年になく暖かく、寒の戻りはあっても日増しにあたたかな春の季節を迎えています。交通安全死亡事故の減少を期待した昨年にもまた厳しい一年で幕を閉じました。全国では五年続いて死者九千人を超えて九千三百七十七人を数え、何とジャンボ機十八機の墜落事故に相当する犠牲者となりました。県内でも五年連続百八台となり、二桁以下の抑止目標が達成できませんでした。

# 上野原安協など全国表彰

## 緑十字金章受賞

県安協副会長 雨宮 崇 敬氏  
大月市小宮 清氏

### 第27回交通安全国民運動中央大会

全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会主催、警察庁委託事業、総務庁、文部省など関係省庁、団体後援の「第二十七回交通安全国民運動中央大会」が一月二十、二十一日の両日東京で開催されました。



盛大に開かれた中央大会

交通安全の推進方策について指定都道府県代表の意見発表と討議が行われました。本県から地域部会に藤崎安協・奥石政雄会長、上野原安協・瀧森敬会長、大月信金・勝保隆氏、企業部会に甲府安協・中山文雄会長（代理）、関東電気保安協会山梨事業本部・末木甲子男氏、婦人部会に上野原女子ドラ・東山邦子会長、南甲府警察署・細川公子交通巡視員らが参加しました。

第二日目は、改装された日比谷公会堂で、全国各地で交通安全に尽力している人たちが二百余人が参集して本会議が開かれました。

良団体、年間スローガンと交通安全作文入選者等の表彰が行われました。常陸宮殿下から励ましの御言葉が賜われ、後藤田正晴内閣官房長官から来賓の祝辞があつて、交通安全国民運動の盛り上がり期待されるなかで盛会のうちに閉会しました。

本県関係の受賞者は次のとおりです。  
〔緑十字金章〕  
△交通安全功労者  
良団体、年間スローガンと交通安全作文入選者等の表彰が行われました。

△交通安全功労者  
県安協副会長 雨宮 崇 敬  
石和安協会長 雨宮 清  
大月市 小宮 清  
〔緑十字銀章〕  
甲府安協理事 奥石 政雄  
甲府安協協理 中山文雄

△交通安全優秀事業所  
△交通安全優良団体  
△交通安全優良小・中学校  
△交通安全優良児童  
△交通安全優良児童  
△交通安全優良児童  
△交通安全優良児童

### 交通安全功労者に輝く三氏



雨宮 崇敬氏



奥石 政雄氏



中山 文雄氏

#### 緑十字金章

##### 雨宮崇敬氏

雨宮さんは、昭和二十六年五月石和安協花鳥分会長、同四十二年三月同安協副会長、同四十六年五月同安協副会長、同五十二年三月石和安協副会長、同五十八年一月同安協副会長に就任し現在に至っています。交通安全のために献身的に尽力した功績が認められて金章を受賞しました。金章は、交通安全功労者表彰で最高級の栄誉であり、交通安全功労者として本県では十人目の受賞です。

#### 緑十字銀章

##### 奥石政雄氏

奥石さんは、昭和二十七年四月、交通安全功労者として本県では十人目の受賞です。長官表彰、警察功労章をはじめ消防、防犯功労、保護司補助功労等多くの表彰を受け社会奉仕など幅広い活動を続けています。

#### 緑十字銀章

##### 中山文雄氏

中山さんは、昭和三十年六月甲府安協評議員に就任以来交通安全活動に尽力するとともに、同四十二年から事業所の安全運転管理業務を推進し、同四十五年六月甲府安協協理、同四十七年五月同安協副会長、同六十二年五月同理事

危険性は何点か？

危険性が高い

危険性がない

危険性は何点か？

危険性は何点か？

優良指導員を全国表彰  
全日交二推委員会  
全日交の二輪車安全運転推進委員会では、三月二十六日、東京都千代田区の番町グリーンパレスで恒例の優良二輪車指導員等の表彰を行いました。

交通安全功労者として本県では十人目の受賞です。長官表彰、警察功労章をはじめ消防、防犯功労、保護司補助功労等多くの表彰を受け社会奉仕など幅広い活動を続けています。

中山さんは、昭和三十年六月甲府安協評議員に就任以来交通安全活動に尽力するとともに、同四十二年から事業所の安全運転管理業務を推進し、同四十五年六月甲府安協協理、同四十七年五月同安協副会長、同六十二年五月同理事

○ 県下一の広いコースで 早い上達を！

○ 伝統ある当校で 1日も早く免許証をあなたの手へ

財団法人 山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内  
TEL 05528-5-0752

新入学児童に交通安全章贈る

県交通安全協会では、県内に就任して現在に至っていますが、三十一年余にわたる児童に交通安全の推進のために顕著な功績が認められ、優良交通安全功労者として銀章を受賞しました。

警察本部と協力して今年四月、小学校へ新しく入学する児童に交通安全章を贈りました。わが子が丈夫に成長して小学生となることは父母の大きな喜びです。しかし、児童をとりまく交通環境は厳しく、いたいたく交通安全の推進が求められています。その一助として、例年お母さん方へ交通安全のしつけをお願する文書を添えて交通安全章を贈っています。子どもが一日も早く正しい交通環境に調和し、元気で通学されるよう祈ります。

運転免許の手数料が改正されました

区分	内 訳	手数料
試験手数料	第1・2種運転免許 (除く普通1種、4種、5種)	2,000
	普通第1種運転免許	1,600
	小特、原付運転免許	1,200
	仮運転免許	1,700
交付手数料	第1・2種運転免許	1,400
	仮運転免許	800
再交付手数料	第1・2種運転免許	2,500
	仮運転免許	800
運転免許証更新手数料		2,400
限定解除審査手数料		1,600
国外運転免許証交付手数料		1,900

# 昨年の交通事故

## 全国の事故

警察庁がまとめた昭和六十一年中の交通事故は、発生五十七万八千七百七十七件(概数)、死者九千三百七十七人、傷者七十一万九千九百九十二人(概数)で前年に比べて、発生件数は二万五千九百八十九件四・七%、傷

# 高齢者死者が29.4%

## 発生・死者・傷者とも減少

者は二万九千六百四十六人四・四%と大幅に増加しました。死者は五十六人〇・六%増加し、五年連続して九千人を超えて、過去十年間の死者では昭和五十八年の九千五百二十二人に次ぐワースト2位の記録となっています。

## 本県の事故

県内の昨年の交通事故は、発生四千三百六十三件(概数)、死者百九人、傷者五千六百四十四人(概数)で、前年に比べて、発生件数は百四十一件三・一%、死者は十三人一〇・七%、傷者は二百六十六人三・七%といずれも減少しました。

# 「二桁台」の定着へ

## 県警の死亡事故抑止目標

県警は、昭和六十一年中の交通事故死者抑止目標を「二桁台(九十九人以下)」と抑止定着と設定し、この目標を達成するために効果的な諸対策をたてて最大限に努力し、県民の期待にこたえたいとしています。

# 安全運転予備軍をめざして

長坂中三年 山口 めぐみ



「50秒に一回起きるもの、さあみなさん何でしょう。」 実は、これは昨年日本で起った人身事故の件数なのです。50秒という短い時間、どこかで一回、人身事故が起きていたのです。なぜこのように、交通事故が多いのでしょうか。

数万件死者百九人で、前年に比べて大幅に減少したものの昭和五十七年以來五年連続して百人を超え、二桁代の目標を達成することができません。また、人口十万人当りの死者数は、全国平均七・七人に對し本県は一三・一人で、滋賀、茨城両県に次いで全国ワースト3の高率を示しています。

四、交通安全教育の効果的推進  
五、効果的な交通指導取締り及び適正かつ迅速な捜査活動の推進  
六、二輪車対策の推進  
七、暴走族対策の強化徹底  
八、高速道路における安全かつ円滑な交通の確保



県交母の大会で激励する佐野県交対課長

# 生命を大切に

## 母親活動推進大会開く

県交通安全母の会連合会(鶴田美枝会長)は、恒例の交通安全母親活動推進大会と指導者講習会を二月十七日、県立総合体育館で開催しました。

はとを  
自動車や原付自転車には  
必ず自賠責保険  
任意の自動車  
つけよう。  
損害保険代理店  
株式会社たいよう共済山梨支店  
甲府市丸の内2丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL 0552-28-0691



## 税の豆知識

世の中便利になってくると、タイヤル一つでコンサートのチケットや国鉄の指定券の予約ができたり、知りたい情報が入りやすくなるようになってきます。

ご家庭等の電話で簡単にご利用になれます。お答えする項目(コード表)は、お近くの税務相談室、税務署にあります。また直接次の番号へかけてお聞きすることもできます。



上野原安協・安管協・女ドラの会の全国表彰を祝い交通安全の推進を誓う (上野原)



交通死者0をめざして常葉諏訪神社で交通安全を祈願 (市川)



鯉沢町で自転車教室を開く (鯉沢)



甲府警察署で琢美交通少年団を激励する (甲府)

地区だより

小林正子さん入選

我が家の交通安全作文

総務庁では、昭和六十一年度の「我が家の交通安全」をテーマに作文を募集しました。

全国から多数の応募があり、その中から優秀作品九十八点が選定されましたが、本県から小学生高学年の部に応募した山梨小六年、小林正子さんが佳作に入選し、総務庁長官官房交通安全対策室長賞を受けました。受賞を祝福し作文を紹介

わが家の交通安全

小林正子

私の家では、父も母も車のめんどきよをもっている、ほとんど毎日車に乗っています。よく夕御飯の時に、車に乗っている時の話があります。

この間、夕方7時暗い時、万力公園のへいから車が来るのを見ていながら子供が

とびおいて、運転手さんが急ブレーキをかけたそうです。母は、反対側車線を走っていたけれど、思わずブレーキをかけたそうです。家についてからも「ふるえが止まらない」と言っていました。

また、お年寄りがフラフラと自転車に乗っていて、前も後ろも見ないでよくお年寄りがいるところから、交通ルールを知らないと思いが、本当にこわいと思います。

小・中学生の乗った自転車、車が脇道からビュンと飛び出して来たことも何度もあります。父や母は、子供やお年寄りのそばを通る

時は、いつもスピードをゆるめるそうです。姉も、毎日学校へ自転車通学をしています。毎朝で付けている時、母が「車に気を付けていってらっしゃい」と何度も何度もいっています。

また、お年寄りがフラフラと自転車に乗っていて、前も後ろも見ないでよくお年寄りがいるところから、交通ルールを知らないと思いが、本当にこわいと思います。

夏休みに成田空港へ見送りに行きましたが、首都高速で停滞に巻きこまれてしまいました。何時間もかかって、やっと抜け出しました。車上り車降り車乗るも、今までこんなにくわいだったのを見たことがなかったの

でびっくりしました。都会では、毎日こんなにくわいなお年寄りの車が多いです。一人ひとりが交通ルールを守らなければ、大変なことになるんだ、と話してくれました。

新聞やテレビで毎日交通事故のニュースがたたくように、一日に二、三十人も人が亡くなっているそうです。これは家族をもっている人は、とてもこわいと思います。

この間、交通事故遺児の書いた作文集「天国にいるお父様」という本を読みました。その本には、交通事故で大切な人を亡くし、とても苦しかったことや、車などを見れば、お父さん

運転免許保有者の推移

Table showing the trend of driver's license holders from 1955 to 1961, categorized by gender and region (Yamanashi Prefecture and National).

県民二人に一人

運転免許保有者が

四十二万二千余人に

昭和六十一年末における本県の運転免許保有者数は、四十二万二千六百七十七人で前年比で二万一千九百六十四人(二・九%)増加しました。県内の免許保有者は、月平均九百九十七人増加しており、このままの増勢で推移すると昭和六十四年には四十五万人を超えるものと推定されます。

全国の運転免許保有者は、五千四百七十九万八千二百七十七人で、前年比百七十三万二千九百九十二人(三・三%)増加し、本県の増加率を上回っています。本県の運転免許保有者の特徴は、

○総人口当りの保有率は五〇・三%で、県民一人九人一人が運転免許を保有し、保有率は全国第四位です。全国の保有率は四四・六八%、二、二四一人一人が保有、男女別保有率は、男六二・七%に対し女三七・三%で年々その比率が縮まりつつあり、保有率は前年に比べて女性が〇・二ポイント増加しています。また、十年間の推移

に一度あつてみたいなど、願いがこめられた作文がたくさんあります。車は人間が考えて作った便利なものなのに、人を殺してしまふこわい物に変身してしまつたのだと思いが、一家の大黒柱のお父さんを一しゆんのうちに失つてしまつて、本当にかわいそうだと思いが、いくばくもありません。家族がいれば、はげまらあつていけるのです。私は家族をもっている人は、とてもこわいと思います。

この間、交通事故遺児の書いた作文集「天国にいるお父様」という本を読みました。その本には、交通事故で大切な人を亡くし、とても苦しかったことや、車などを見れば、お父さん

いつも通る道の、それも直線コースで起こしたこと、私の一方的な過失としかいえません。対向車線を行って行く大型トラックに気が取られて私と同じ方向に歩いていた歩行者に気付かず、そのまま後ろからはねてしまったのです。

「トスン」という、衝突時の大きな音に驚き、急ブレーキをかけたのですが、十分ほどはねとはねてしまいました。急いで車を降り、そばに駆け寄り助けようとしたのですが、すでに意識はなく、眠っているようであり、そのうのうの口もからは血を流していました。

「これは夢ではないか、夢であつてくれ」と、心で何度思ったことでも、しかし、それは、まぎれもない現実でした。

あがな 贖いの日々 それは夢でなかった 会社員(43歳)

をみると男性の増加率が一・九倍に比し、女性は一・八二倍と増加して男性を大きく上回っています。(運転免許課資料提供)

目の前が真っ暗に 間もなく、救急車がきて、被害者を病院へ運んでいきまし。私はその場に残り、間もなく警察のバトカーが駆けつけてきて、事故の見分を行いました。見分後、警察署に連れて行かれ、昼過ぎになって被害者(看護婦、当時二十九歳)が、死亡したという通知を受けたのです。私は、またしても目の前が真っ暗になり、まぼろしか……。これは夢か、まぼろしか……。これは夢か、まぼろしか……。

その日一晩留置され、翌日調書を取り終えてから、やっと帰宅を許されました。会社の上司に連れられて帰る道すがら、自分の今後の身の振り方を考えると、不安でいっぱいでした。すぐその足で被害者の密葬に出席させていただきましたが、遺族の方々の憎しみは、それは大変なもので、私はただ頭を下げ、土下座

をしては、出所した後の厳しい現実を考えると、悔んでも悔みきれない気持ちでいっぱいです。これからは、二度とハンドルを握るまい。と決心していますが、今服役中の私にできることは、亡き被害者の冥福を祈ることだけです。朝に、夕に、そのことを心に思いつて、手を合わせている毎日です。(東京交通安全協会発行「青いシグナル」より)

をしているばかりでした。裁判の結果、禁錮八月を言い渡され、今こうして刑務所生活を送っているのです。十字架を背負つて 人ひとりの生命を奪つたということは、このような施設に入ったからといって消え去るものではなく、遺族の怒りと悲しみは、それは、はかり知れないものでしょう。

私のこのような、ちよつとした不注意から、この先取り返しのつかない、重い十字架を背負つた人生を歩まなければならぬようになりました。そして、出所した後の厳しい現実を考えると、悔んでも悔みきれない気持ちでいっぱいです。これからは、二度とハンドルを握るまい。と決心していますが、今服役中の私にできることは、亡き被害者の冥福を祈ることだけです。朝に、夕に、そのことを心に思いつて、手を合わせている毎日です。(東京交通安全協会発行「青いシグナル」より)

交通事故の撲滅を願って 交通安全祈願祭



県交通安全協会と県警交通関係者は、一月九日、武田神社で恒例の交通安全祈願祭を行いました。県警・関口祐弘本部長、県安協・高野慶賞副会長をはじめ県警交通部幹部、交通機動隊員、高速道路交通安全隊員、県安協役員ら七十名とバトカー、白バイが社前に参列し、県安協旗をかかげて神官からお祓いを

受け、今年一年の交通安全と交通事故の撲滅を祈願しました。昨年は、県民の願いもむなし交通事故死者百九十九人を超えて二桁台以下を達成することができました。今年こそ、この目標の達成を目ざして一層の努力を尽くすことを誓いました。